

<p><b>科目名：口腔衛生学Ⅰ</b></p>	<p>必</p>	<p>2 単位</p>
<p>( Oral Health &amp; Public Health Ⅰ )  履修年次/時期：1 年次 後期 授業形態：講義  担当教員：戸田真司、荒川浩久、宋文群、中向井政子（全員実務経験有）</p>		
<p>学修目的</p>	<p>歯と口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みを学修する。具体的には疾病異常の原因、予防に関する科学的事実と基礎を正しく理解し、必要な知識と技術を身につけ、患者の教育と指導の実践の能力を修得する。  DP 2（2）に関連する。CP 2に関連する。 科目 No.S1B07H18</p>	
<p>到達目標</p>	<p>歯科衛生士としての個人口腔衛生の知識と技術を修得し、患者のライフステージに応じた予防と健康増進を支援するとともに、他医療職と連携をとることができる。  ①歯・口腔の発育と機能ならびにそれを取り巻く歯・口腔の環境を説明できる。  ②口腔清掃の基礎と実際を説明できる。  ③う蝕予防の基礎と実際を説明できる。  ④歯周疾患予防の基礎と実際を説明できる。  ⑤その他の歯科疾患の基礎と実際を説明できる。</p>	
<p>授業概要</p>	<p>講義：口腔衛生学は歯科衛生士の業務である「歯科予防処置」と「歯科保健指導」の基本となる学問である。授業は教科書を中心に解説し、必要な資料を配布し、スライドや黒板を適宜使用する。  学生諸氏はシラバスに沿って予習をするとともに、用意された予習課題に取り組む。また、予習課題とともに復習課題を毎回用意するので、授業ごとにできるだけ早いタイミングで事後学習に取り組み、得られた知識を整理し修得する。</p>	
<p>評価方法</p>	<p>学期末本試験（100 点満点）  授業への参加度および課題の実行度に応じて加点を行う。  授業中の私語や指示のない携帯端末の使用など、不適切とみなされる受講態度が認められる場合には減点を行う。  試験に対するフィードバックを行う際には、個別対応でなく掲示にて行う。</p>	
<p>予習・ 復習時間</p>	<p>【予習課題】 2.0 時間  【復習課題】 2.0 時間</p>	
<p>教科書</p>	<p>歯科衛生士テキスト・口腔衛生学—口腔保健統計を含む—（学建書院）第4版</p>	
<p>参考書</p>	<p>別冊歯科衛生士・プラークコントロールのためのホームケア指導（クインテッセンス出版）</p>	
<p>問い合わせ 連絡先</p>	<p>戸田真司：月～金曜日 12:40～13:20 16:40～17:00 4号館 2階（戸田研究室） <a href="mailto:toda.s@kdu.ac.jp">toda.s@kdu.ac.jp</a>  事前にメールをいただくと円滑に対応できます。  荒川浩久 <a href="mailto:arakawa@kdu.ac.jp">arakawa@kdu.ac.jp</a>  メール連絡にて対応いたします。  宋文群 月～金曜日 16:40～17:00 第2研究棟 4階 口腔衛生学第1研究室 <a href="mailto:song@kdu.ac.jp">song@kdu.ac.jp</a>  事前にメールをいただくと円滑に対応できます。  中向井政子 月～金曜日 12:40～13:20 16:40～17:00 3号館 2階（中向井研究室） <a href="mailto:nakamukai@kdu.ac.jp">nakamukai@kdu.ac.jp</a>  事前にメールをいただくと円滑に対応できます。</p>	